

～安全、安心なきゅうりを食卓へ～
戸田 哲雄さん（西条市）

周桑農協の農業振興協議会、青年部小松支部
きゅうり部会所属 1984 年生まれ



☆経営概況☆

冬春きゅうり(施設栽培 11 月定植)2050 m²、夏秋きゅうり(露地栽培 7 月定植)10a、
水稲 260a、麦 150a を家族 4 人（本人、父、母、妹）で経営しています。

父からは農業技術を多く教わり、母には自分以上に農作業をこなしてもらっています。
両親は偉大なと思っています。

☆ここがポイント☆

■「自分がやるしかない」と決心し、専業農家に！

大学院修了後、県内企業に就職していましたが、父の病気を機に、きゅうり栽培を中
心とした専業農家を継ぎ、地域農業を守る担い手になることを決意しました。

きゅうりは、草勢や肥培管理、病虫害防除が難しい品目です。また、近年は天敵を導
入した栽培技術や、ハウス内の環境制御技術の進歩が著しいです。そのため、両親や J
A 営農指導員、普及指導員の意見を聞くとともに、県・市・JA が開催している講習会
には積極的に参加し、栽培技術の向上に努めています。今後は、冬春きゅうりで反収
30t、夏秋きゅうりで 12t 以上を目標に技術を磨いていきたいです。

また、地域において圃場整備が進められており、圃場整備後は水稲、麦を増やしてい
く予定です。反収の目標は、水稲で 600 kg、麦で 400 kg を目標に励みたいです。

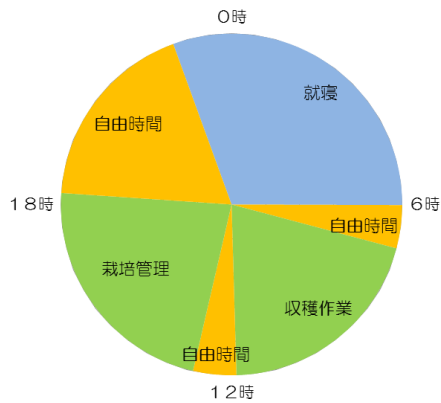


きゅうりの誘引作業



きゅうり収穫

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

周年きゅうりの管理を中心に、水稲と麦栽培も行っています。

休日は特に日を設けているわけではないですが、体調の悪い時は半日から1日休みを取るようにしています。

余暇は、インターネットで便利な農作業道具を探したり、ネットゲーム等を行っています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】						
← 収穫・出荷 →						
【普通期】						
← 栽培管理 →					← 休日 →	



西条まつりに参加

☆これからの夢や目指すもの☆

農作業の効率化を図り、自分や家族の時間をもてる農業経営を目指していきたいです。そして、必要以上の肥料・農薬の使用を省き、収益性の高い農業技術や品種を取り入れて、所得向上を図り、大きい家を建てるのが目標です。

☆メッセージ☆

会社勤めとは違い、人に対して気を使う必要がなくなります。ただし、手を抜けば病気等の障害が発生して収量や品質が悪くなります。自分がやればやるほど見返りがあるのが農業の魅力です。何でもやればできるという意識をもって農業経営を行っていただきたいです。